

Web
開催

国際幼児教育学会 第42回大会

世界の幼児教育の ニューノーマル

2021
9/25(土) ~ 10/8(金)



本学会は、幼児教育の国際学術交流を推進しております。
第42回大会では、第1日目に、コロナ禍における保育実践について、各国のご専門の方よりご紹介していただきます。第2日目には、学会の研究部会として、絵本を読み合う活動を続けている「絵本部会」のワークショップを行います。加えて、今回は、乳幼児期の表現について、言語を超えて、オンラインで体験するワークショップも予定しております。

COVID-19の影響によって、世界中の就学前施設が、日常の保育を奪われました。他方、コロナ禍を利用して、子どもの心を揺さぶるような実践を試みる園も散見されます。第42回大会では、日本、米国、中国、韓国、タイなどの就学前施設を対象に、従来の幼児教育を問い直し、新たな価値を創造するような実践事例をご紹介し、参加者のみなさまと相互に対話することによって、新常态下における幼児教育を展望するための機会を創出いたします。研究者、実践者問わず、多数の幼児教育関係者の方のご参加をお待ちしております。

参加費

会員、非会員問わず、お申込みいただいた方は
全てのプログラムにご参加いただけます。

国内	会員	参加	2,000 円
		参加 + 研究発表 (筆頭・連名いずれも可)	5,000 円
	学生会員	参加	2,000 円
		参加 + 研究発表 (筆頭・連名いずれも可)	3,000 円
	非会員	参加	3,000 円
		参加 + 研究発表 (連名のみ可)	6,000 円
海外の方	学生会員	参加	3,000 円
		参加 + 研究発表 (連名のみ可)	3,000 円
海外の学生の方	学生会員	参加	6,000 円
		参加 + 研究発表 (筆頭・連名いずれも可)	7,000 円
海外の学生の方	学生会員	参加	4,000 円
		参加 + 研究発表 (筆頭・連名いずれも可)	4,000 円

※お支払い方法は、お申込み時にクレジット・銀行振込・コンビニ支払いから選びください。

申込方法

下記サイトまたは QR コードより
お申込みください。

iaece42.jp/index.html



- ◆ 大会参加申込期間 6月1日(火) ~ 9月14日(火)
- ◆ 発表申込期間 6月1日(火) ~ 6月30日(水)
- ◆ 発表要旨提出期間 7月1日(木) ~ 8月10日(火)

※フライヤー中の情報 2021年4月24日現在のものです。
最新の情報は大会HPをご確認ください。



International Association of
Early Childhood Education

お問い合わせ先： 国際幼児教育学会第42回大会実行委員会
iaece2021@ml.hiroshima-u.ac.jp

※入退会、会員情報の変更、会費納入などに関するお問い合わせは、学会事務局までお願い致します。
〈国際幼児教育学会事務局〉 iaece.office@gmail.com

www.iaece.org

国際幼児教育学会

検索

大会スケジュール ※一部抜粋	9/25(土) シンポジウム	9:00 ~ 10:00	日本のニューノーマル保育実践 実践者：栗原 啓祥 (認定こども園清心幼稚園) 研究者：境 愛一郎 (共立女子大学)
		10:15 ~ 11:15	米国のニューノーマル保育実践 研究者：斎藤 法子 (California State University) 研究者：八谷 美幸 (Pierce College, California)
		11:30 ~ 12:00	～総括～ 野口 隆子 (東京家政大学)
		13:00 ~ 14:00	韓国のニューノーマル保育実践 研究者：李 妍承 (慶星大学校) 研究者：森 貞美 (聖徳大学)
		14:15 ~ 15:15	中国のニューノーマル保育実践 実践者：欧 賽萍 (海韻幼稚園) 研究者：周 念麗 (華東師範大学)
		15:30 ~ 16:30	タイのニューノーマル保育実践 実践者：アルーンシリ チャンタソン (スワンドゥシット大学) 実践者：山本 一晴 (Associate International Kindergarten Bangkok35) 研究者：福井 逸子 (神戸親和女子大学)
		16:45 ~ 17:15	～総括～ 門松 愛 (名古屋女子大学)
	9/26(日) ワークショップ	9:00 ~ 11:00	〈絵本〉グローバリズムを育む絵本 松本 由美 (玉川大学) 宮地 敏子 (児童文学者) 山岡 テイ (情報教育研究所) 山田 千明 (共栄大学)
		12:00 ~ 14:00	〈アート保育〉アートとすくすく子どもたち 岡本 礼子 (アトリエREIレイこども舎) 岡本 千春 (アトリエREIレイこども舎) 岩手 萌子 (アトリエREIレイこども舎) 津島 ひかる (アトリエREIレイこども舎)
		14:30 ~ 16:30	〈演劇・表現〉即興は楽しい！保育におけるインプロ (即興演劇) のすすめ 直井 玲子 (青山学院女子短期大学)
	9/25(土) ~ 10/8(金)		研究発表 研究発表は、「日本語部門」「英語部門」「中国語部門」に分け、通訳なしで実施いたします。会期中は、大会発表ページにて、発表論文を自由にご覧いただけます。 それぞれの論文には、コメント・ご質問などを書き込んでいただけますので、発表者との質疑応答も可能です。

シンポジウム 日本のニューノーマル保育実践 9/25 (土) 9:00~10:00 実践者：栗原 啓祥（認定こども園清心幼稚園） 研究者：境 愛一郎（共立女子大学） 登壇者の栗原が勤務する清心幼稚園は、1895年に創立以降、科学と芸術がせめぎ合う探究活動、地域や専門家との共生的な連携、既存の枠組みに囚われない年中行事といった独自の保育を構築してきました。此度のコロナ禍は、同園が大切にしてきた種々の対話や関係性を断つと同時に、自由に編み直す契機ともなりました。たとえば、これまでの保育では、子どもが直接に参加し触れられる活動が同園に限らず「良し」とされてきましたが、コロナ禍を経て、あえて距離感を楽しむという発想が生まれつつあります。当日は、清心幼稚園の取り組みをきっかけに、新たな保育の可能性を参加者とともに探ります。	シンポジウム 米国のニューノーマル保育実践 9/25 (土) 10:15~11:15 研究者：斎藤 法子（California State University） 研究者：八谷 美幸（Pierce College, California） パンデミックの影響で、2020年3月からカリフォルニア州のすべての公立学校が閉鎖され、1年が経過しました。2020年は多くの学校がインターネットを利用した遠隔教育を開始し、2021年4月一部の学校ではハイブリッド学習システム（対面と遠隔教育が半々）が開始されました。2021年9月には、すべての学校が開校する予定となっています。 幼児教育者である私たちは、幼い子どもたちが五感を使って学ぶことを知っています。触る、嗅ぐ、聞く、味わう、お互いを見る、他の子どもたちがしていることをモデルにするなどがあります。遊びは、学びの中心です。こうした幼児教育の実践は、遠隔教育では具現化することのできない要素であり、学びは、社会的な営みです。 私たちは、議論の中でいくつかの重要な要素を疑う必要があります。パンデミックによる「As New Normal」は、幼児の認知的発達や社会的情緒の発達に影響を与えるのでしょうか？当日は、幼児の認知的・社会的・感情的な発達のための問題点と実行可能な解決策について述べます。
シンポジウム 韓国のニューノーマル保育実践 9/25 (土) 13:00~14:00 研究者：李 妍承（慶星大学） 研究者：森 貞美（聖徳大学） 本発表の目的は、コーディングロボットを活用したソフトウェア教育プログラムが、幼児のコンピューティング思考力と遊びに及ぼす影響を確かめることです。本研究では、韓国釜山市にある2つの幼児教育機関の4〜5歳幼児50人を対象に調査を実施しました。それにより、コーディングロボットを活用したソフトウェア教育プログラムは、幼児のコンピューティング思考力（問題分解、パターン認識、アルゴリズム、縮約化、デバッグ）と遊び（社会的相互性、認知の柔軟性、楽しみの表現、ユーモアの工夫、主導的没入）を促進させることが明らかになりました。これらの研究結果から、幼児教育現場において、幼児が主体的に興味を持って参加できるコーディングロボットを活用したソフトウェア教育プログラムの開発が必要であるという示唆が得られました。	シンポジウム 中国のニューノーマル保育実践 9/25 (土) 14:15~15:15 実践者：欧 賽萍（海韻幼稚園） 研究者：周 念麗（華東師範大学） 「活教育」の理念を持つ海韻幼稚園では、これまで子どもの生きる教育を重視してきました。コロナ禍の現在、この能力には「自救能力」の育成が重ねられています。生きる教育の「3H」（Head, Heart, Hand）を通じて、海韻幼稚園ではさまざまな探究活動に取り組んでいます。理念と知識にもとづき、生きていく中でコロナ禍を含む予測不能な出来事に遭遇することを子どもたちに理解させ、感情と意志のもと、忍耐力でこれらによるマイナスの影響に抵抗することができるように。そして、実際の生活において、予測できない出来事に対処し、解決するための様々な戦略と方法を探ることができるでしょう。詳しい内容は大会当日に深く検討します。
シンポジウム タイのニューノーマル保育実践 9/25 (土) 15:30~16:30 実践者：アルーンシリ チャンタソン（スワンドゥシット大学） 実践者：山本 一晴（Associate International Kindergarten Bangkok35） 研究者：福井 逸子（神戸親和女子大学） タイでは、2020年3月26日付のタイ国全土を対象とした非常事態宣言が、現在も適用されています。新型コロナウイルス感染対策に関わる決定事項は、官報として、既に20号が公示され、教育施設の一時閉鎖措置は、3回に至っています。その都度、全教育機関で、タイ教育省の指示により遠隔授業が実施されてきました。このようなタイ政府の方針に翻弄され、対処してきた教育現場の現状について、タイの国立幼稚園及び私立幼稚園の運営に関わる立場から報告します。 タイの幼児教育カリキュラムは、教科型学習が主であることから、オンライン／オンサイト教育の切り替えが比較적입니다。本シンポジウムは、今後のコロナとの共存を見据えた取り組みについて考え合う機会にできればと思います。	ワークショップ 〈絵本〉グローバリズムを育む絵本 9/26 (日) 9:00~11:00 松本 由美（玉川大学） 山岡 テイ（情報教育研究所） 宮地 敏子（児童文学者） 山田 千明（共栄大学） このコロナウイルス感染症パンデミック期に、絵本部会はWHY?なぜ「グローバリズムを育む絵本」をテーマにしたのでしょうか。そもそもglobalismってWHAT?なんですか。リモートでワークショップをHOW？どうするのでしょうか。多様な理念多様な実践が予想されます。 そこで様々な報告が自由に聴けるワークショップを企画しました。実践報告を通してグローバリズムを育む絵本について共に考える機会にしたいと思います。報告者の絵本紹介は後日公開予定です。 報告者：石川由美子（宇都宮大学）／何偉（中国安徽省銅陵市福祿貝爾幼兒園、福祿貝爾絵本館）／上村瑞枝（認定こども園ゆりかご幼稚園）／松田ミカ（国際協力機構筑波センター（JICA 筑波）図書情報室）／成田望・松本由美（玉川大学4年生・玉川大学）
ワークショップ 〈アート保育〉アートとすず子どもたち 9/26 (日) 12:00~14:00 岡本 礼子（アトリエREIレイこども舎） 岩手 萌子（アトリエREIレイこども舎） 岡本 千春（アトリエREIレイこども舎） 津島 ひかる（アトリエREIレイこども舎） 「アート」って何？「アート」は生活の中から生まれるのです。生活の中にある○△□、お皿のカタチ、机のカタチ、椅子のカタチ。我々が生活する世界は、「色、カタチ、素材」で出来上がっています。生活の中で「色、カタチ、素材」を意識して遊ばせることで、美しいと感じる心を育て、色やカタチを並べるバランスを学んでいきます。ワークショップの中で、周囲にあるものを準備して参加してもらい、色やカタチ素材に変化を加え、意識して並べることで美しい空間や画面を作り出すことを伝えたいと思います。日々の生活に「アート」を意識する保育をしてみませんか？	ワークショップ 〈演劇・表現〉即興は楽しい！保育におけるインプロ（即興演劇）のすすめ 9/26 (日) 14:30~16:30 直井 玲子（青山学院女子短期大学） インプロとは、脚本や設定や役など何も決まっていなくて、その場に出てきたアイディアを皆で受け入れ合い、ふくらませながら、物語をつくって演じていく即興演劇のことです。今回は、日英中の言語の壁を越えて、オンラインでできるインプロゲームを楽しみながら、参加者同士が知り合い、お話づくりや即興の演劇にチャレンジしていきます。また、保育の中で子どもたちと遊べる内容もご紹介していきますので、ぜひ、お気軽にご参加ください。 （ZoomのカメラとマイクをONにして、おしゃべりができる環境から参加してください）